

# 2025年3月期1Q決算説明資料

---

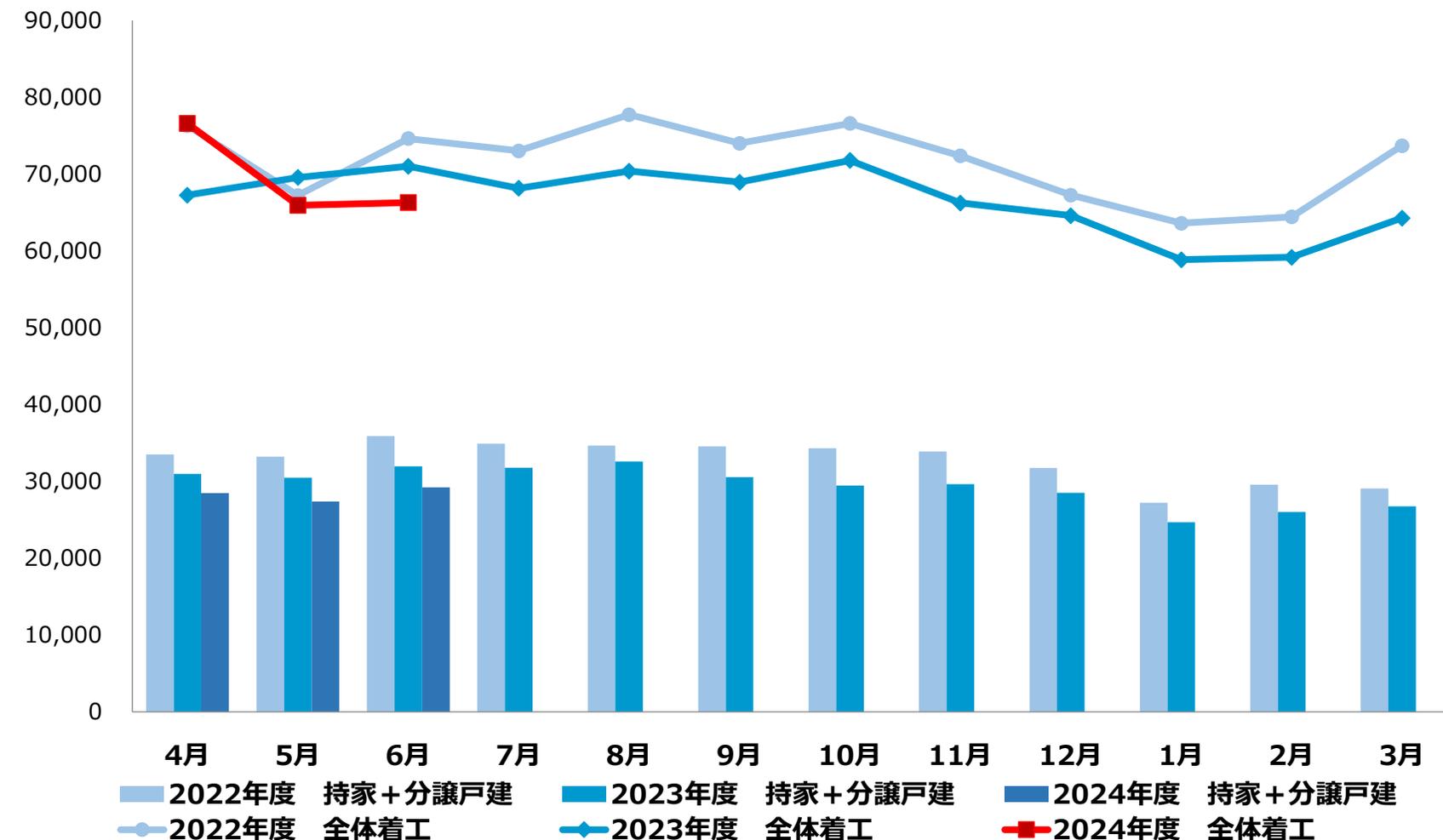


2024年8月9日  
広報・IR推進室

地球を、クマなく想う。 — 未来の地球を想い、今わたしたちにできることを考える。 —

# 新設住宅着工戸数月別推移

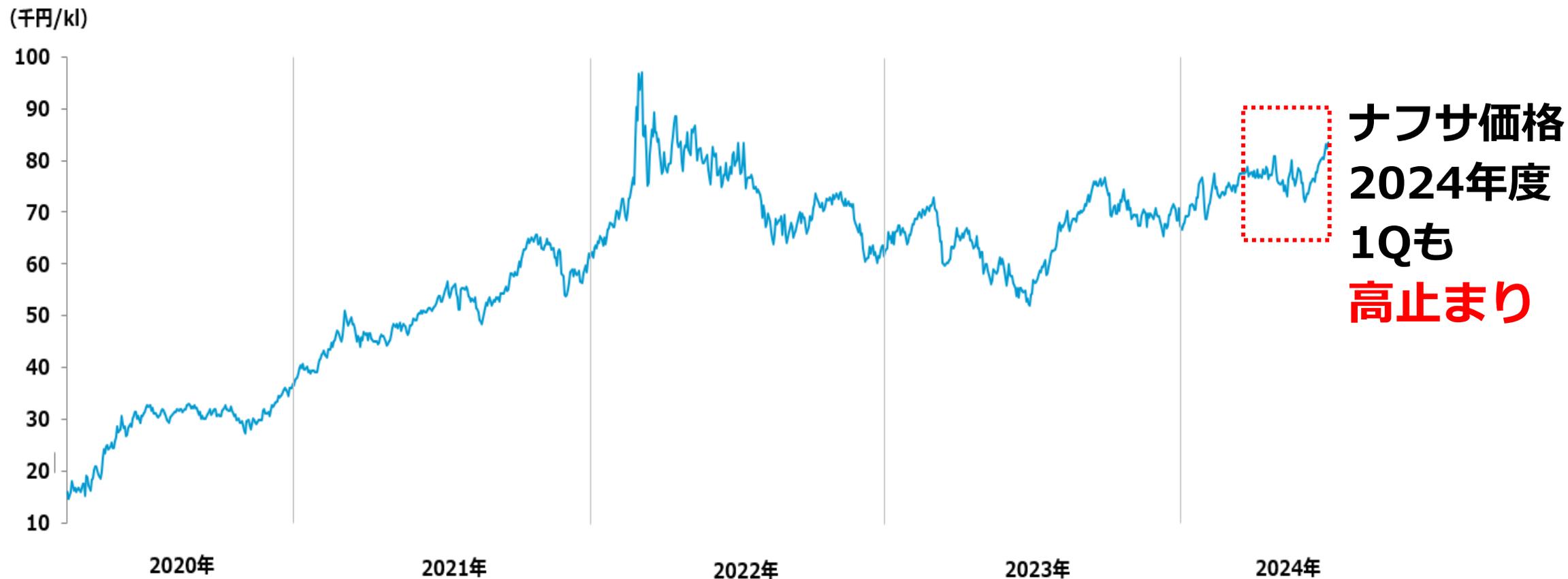
(単位：戸)



2025年3月期 1 Q  
持家+分譲戸建  
**85千戸**

前年同期比  
**8.9%減**

# ナフサ価格推移



# 連結決算の概要

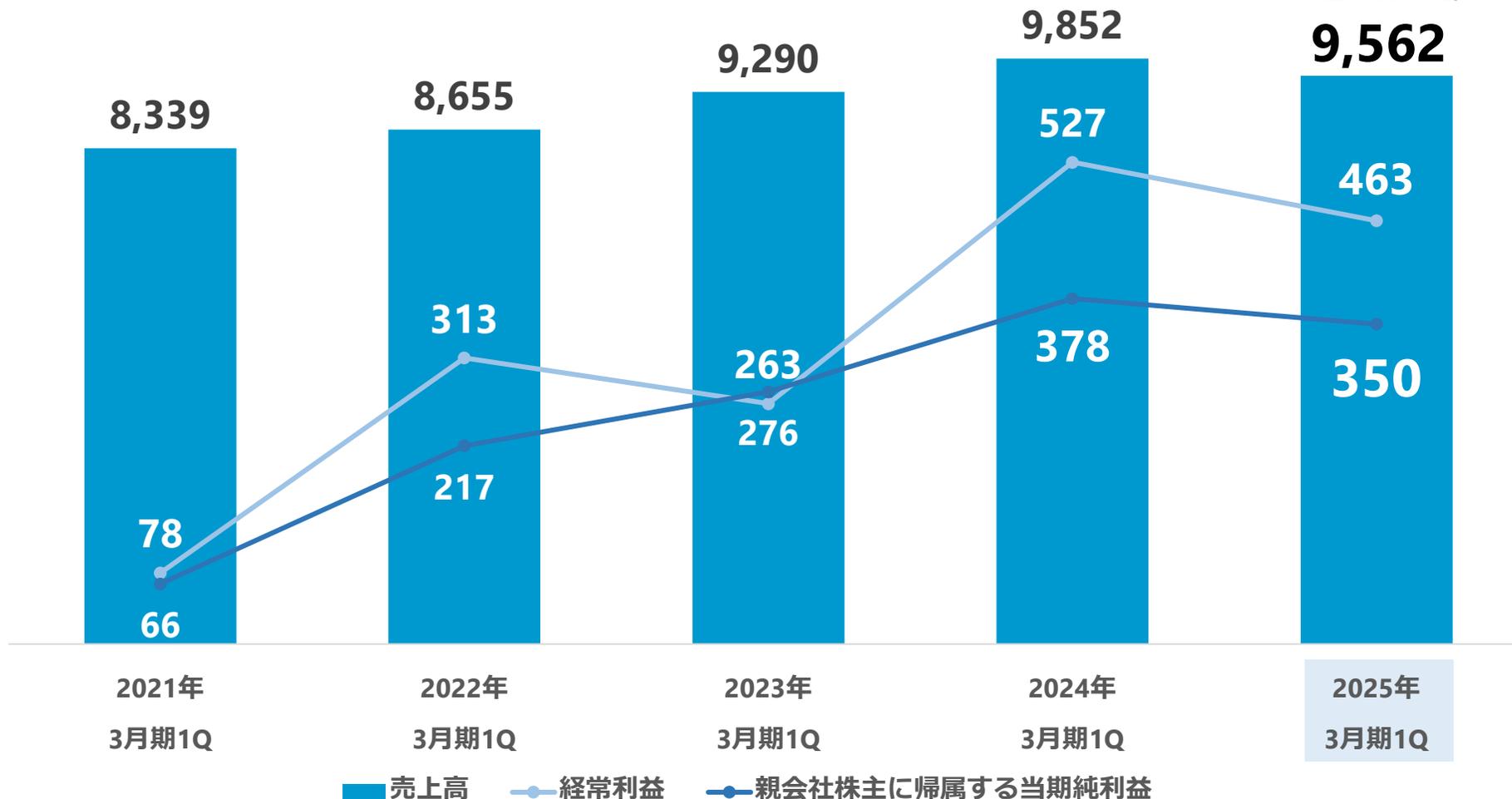
(百万円)	2024年 3月期1Q	2025年 3月期1Q	差異	増減率
売上高	9,852	9,562	▲ 290	-2.9%
営業利益 (営業利益率)	350 (3.5%)	290 (3.0%)	▲ 59 (-0.5%)	-16.9% -
経常利益 (経常利益率)	527 (5.3%)	463 (4.8%)	▲ 63 (-0.5%)	-12.0% -
親会社株主に帰属 する当期純利益 (当期純利益率)	378 (3.8%)	350 (3.7%)	▲ 28 (-0.1%)	-7.3% -

住宅市況の弱含み、  
価格改定の一巡、  
人件費増などにより、  
**2025年**  
**3月期 1Q 減収減益**

# 連結決算の推移

## ▶ 直近5年の売上高・経常利益・当期純利益の推移

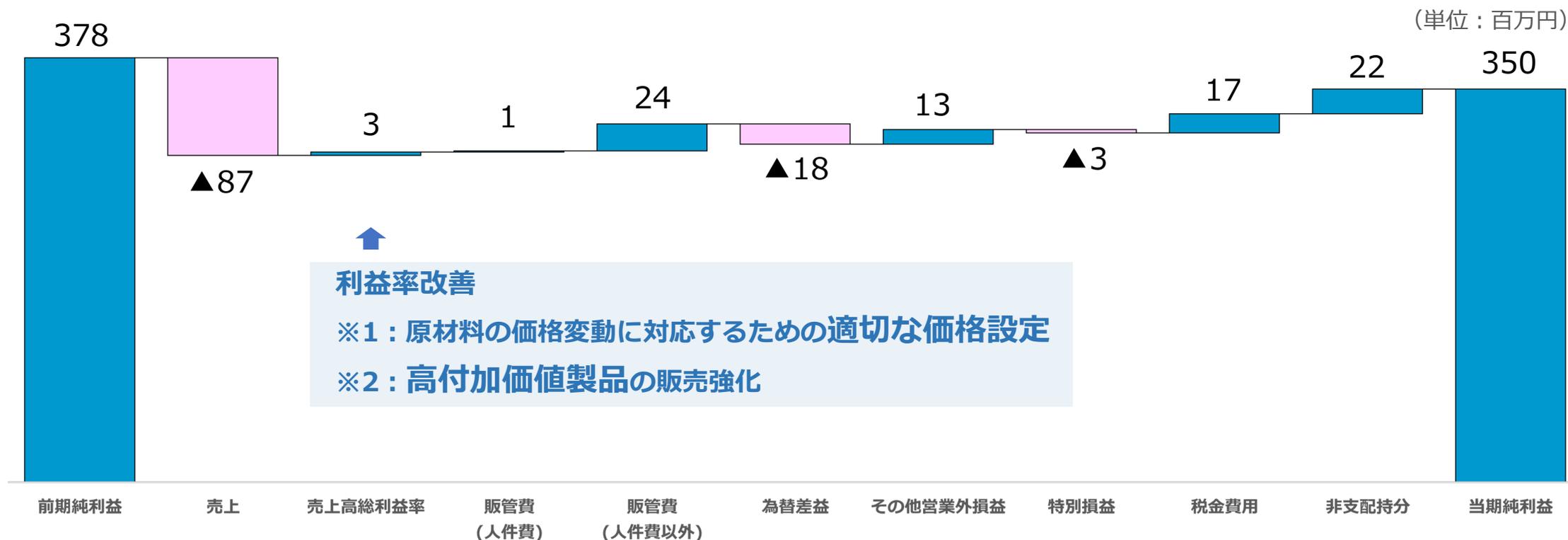
(単位：百万円)



住宅市況の弱含み、  
価格改定の一巡、  
人件費増などにより、  
**2025年  
3月期1Q 減収減益**

# 連結純利益前年比較

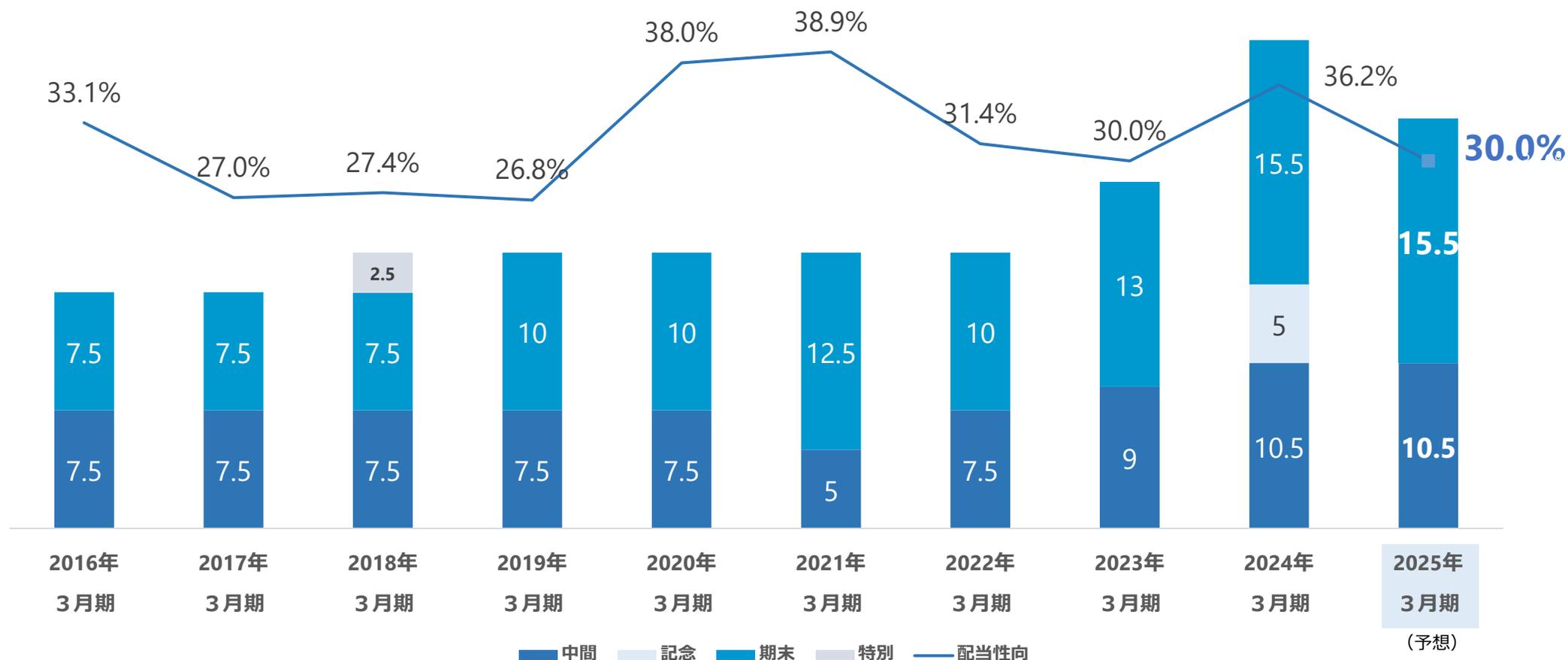
- ▶ 売上：前期比2.9%・290M減少したことにより、87M売上総利益が減少
- ▶ **売上高総利益率：前期比0.1%上昇したことにより、3M売上総利益が増加**
- ▶ 販管費：前期比25M（主に販売促進費の減少）のプラス要因



# 配当の推移

▶ 直近に公表されている配当予想から**修正なし**

▶ 2025年3月期配当（予想）：**年間配当金 26円00銭（配当性向30.0%）**



# セグメント別の連結売上状況

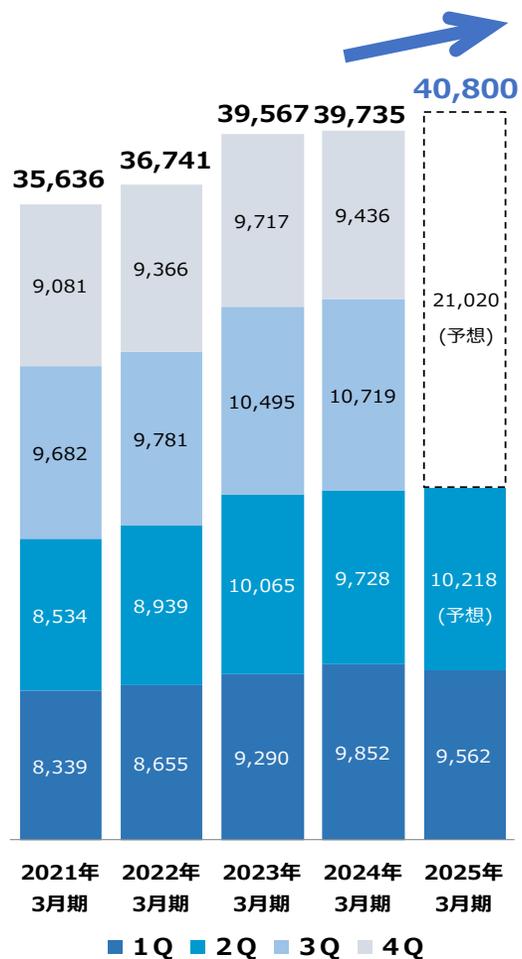
セグメントの名称	売上高 (百万円)	構成比	事業概況
建材事業	6,234	65.2%	住宅分野では、高性能断熱材『フェノバボード』が堅調に推移。また、前年度より高断熱内窓『メルツエン』の加工機能を強化した事が功を奏し、能登半島地震における応急仮設住宅の緊急需要に対応出来、売上に貢献。一方で、持ち家・分譲戸建の大幅着工減という市場環境から、汎用品は低調に推移。 非住宅分野では、FOOMA JAPANをはじめとした“食”に関する展示会への出展等、プロモーションを強化した結果、工場・倉庫向け商品群『PLANTOOL』が堅調に推移。
CSE事業	2,537	26.5%	建築資材系OEM品が伸び悩み。住設資材系OEM品の採用数増加、バスやトラックといった大型車輻向け部材や、業務用冷蔵庫向け部材、事務機器部材といった産業資材が好調。
精密事業	324	3.4%	主力の車載向け部材が回復傾向、また、品質向上やサイズラインナップの拡充などの取り組みにより、非車載向け部材とともに売上は底堅く推移。
グローバル事業	809	8.5%	海外事業では、ASEAN地域での建材販路拡大に向け、販売チャネル構築に向けた活動を推進。
報告セグメント計	9,904	103.6%	
その他の事業 (調整額)	17 -359	0.2% -3.8%	
四半期連結 損益計算書計上額	9,562	100.0%	

※ 調整額は、セグメント間取引消去によるもの。

# 四半期ごとと業績推移と通期業績予想（連結）

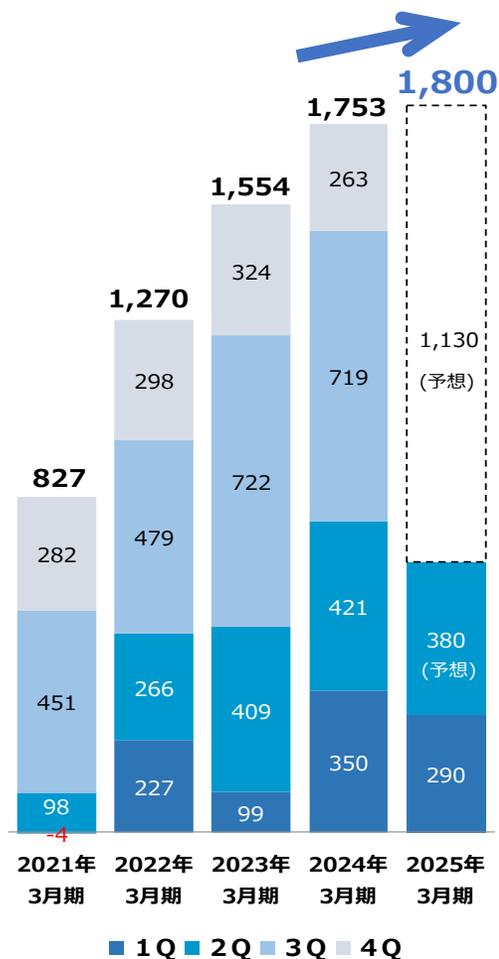
## 売上高推移

(百万円)



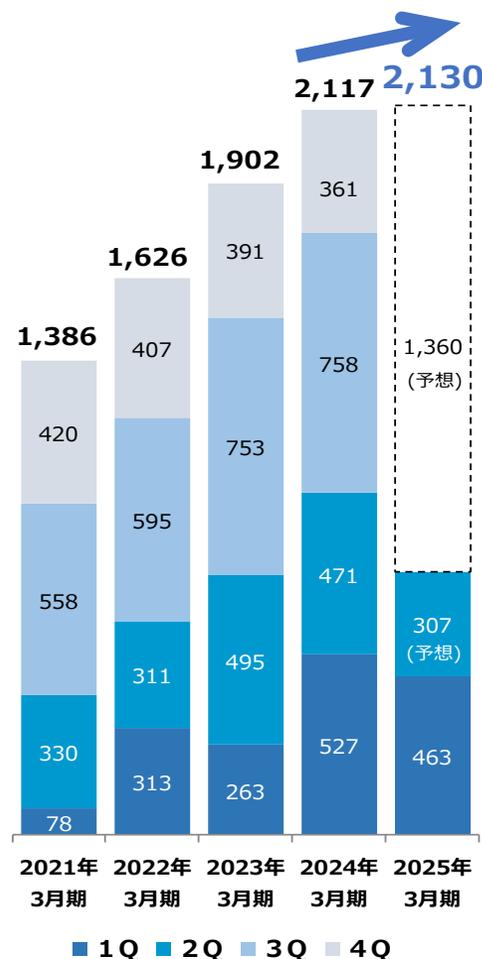
## 営業利益推移

(百万円)



## 経常利益推移

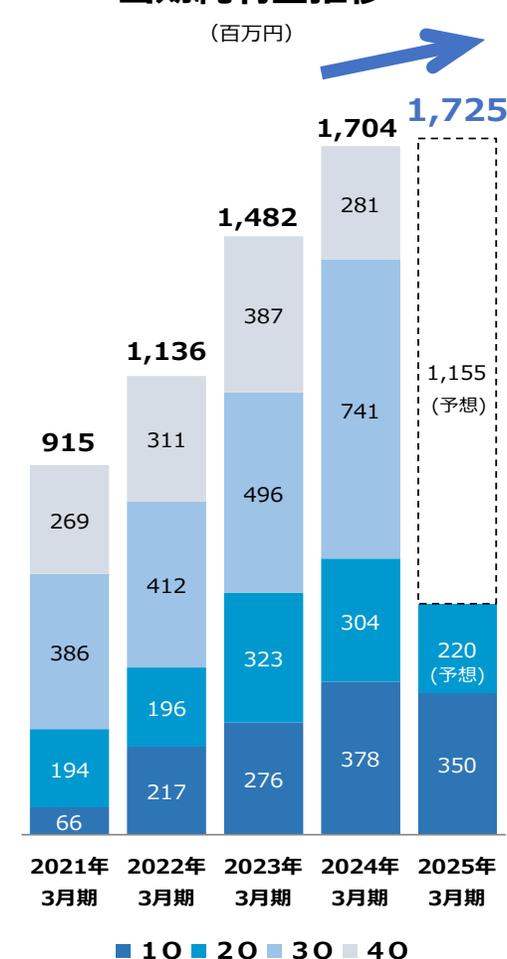
(百万円)



## 親会社株主に帰属する

### 当期純利益推移

(百万円)



# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

区分	科目	2024年3月期	2025年3月期 1Q	増減	主な増減要因
	流動資産	35,303	35,867	565	受取手形、売掛金及び契約資産-1,330、電子記録債権+873
	うち 現金及び預金	11,203	12,122	919	
	うち 棚卸資産	5,848	5,959	111	
	固定資産	18,773	18,663	-111	長期前払費用+12、投資有価証券-133
	うち 有形固定資産	8,361	8,362	1	
	うち 無形固定資産	800	800	0	
	資産合計	54,076	54,530	454	
	流動負債	14,229	14,761	532	賞与引当金+357
	うち 支払手形及び買掛金	10,299	10,413	114	
	うち 短期借入金	93	95	2	
	固定負債	2,685	2,499	-186	繰延税金負債-147、リース債務-38
	うち 長期借入金	-	-	-	
	負債合計	16,914	17,260	345	
	純資産合計	37,162	37,270	109	その他有価証券評価差額金-40、為替換算調整勘定+98、利益剰余金+41
	うち 非支配株主持分	831	846	15	
	負債純資産合計	54,076	54,530	454	

2025年3月期 1Q

自己資本

36,425百万円

自己資本比率

66.8%

# 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	2024年3月期1Q	2025年3月期1Q	増減
売上高	9,852	9,562	-290
売上原価	6,883	6,677	-206
売上総利益	2,969	2,885	-84
販売費及び一般管理費	2,620	2,595	-25
営業利益	350	290	-60
営業外収益	188	192	4
営業外費用	11	19	8
経常利益	527	463	-64
特別利益	-	-	-
特別損失	1	4	3
法人税等	118	101	-17
四半期純利益	408	358	-50
親会社株主に帰属する四半期純利益	378	350	-28

# 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

(単位：百万円)	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q
営業活動によるキャッシュフロー	872	<b>1,412</b>
うち 税金等調整前当期純利益	525	459
うち 減価償却費	289	319
うち 賞与引当金の増減額	378	357
うち 売上債権の増減額	348	478
うち 法人税等支払額	-359	-210
投資活動によるキャッシュフロー	-151	-135
うち 有形固定資産の取得及び売却	-120	-166
うち 投資有価証券の売却	-	71
うち その他の投資活動	-3	-2
財務活動によるキャッシュフロー	-339	-421
うち ファイナンスリース債権の返済	-74	-88
うち 配当金の支払	-258	-309
現金同等物の換算差額	34	62
現金及び現金同等物の増減額	416	<b>919</b>
現金及び現金同等物期末残高	12,535	12,122
フリーキャッシュフロー	721	1,278

営業活動による  
キャッシュフロー  
**1,412百万円**

現金及び現金同等物  
2024年3月期末から  
**919百万円増**

# 2025年3月期1Qのトピックス

## ▶ 『フリーフロアーE-CP』 エコリーフを取得 (2024年4月)

台板・ビス・ナットの3部材を一体化した台座ナット

フリーフロアーE-CP部材表	部材点数 6点⇒3点削減
ボルト	
台座ナット	
ゴム座	

日本国内で回収した廃漁網をリサイクルしたナイロン樹脂 (REAMIDE®) を活用し、乾式二重床の支持脚ボルトにアップサイクル



座廃処理されてきた使用済み漁網をポストコンシューマーリサイクル

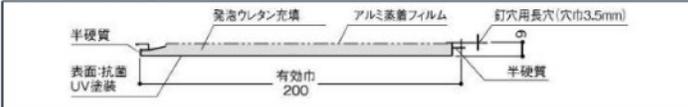


Environmental Product Declaration  
**ECO LEAF**  
製品環境情報  
<https://ecoleaf-label.jp/>  
JR-AG-24001E  
エコリーフマーク

## ▶ 『バスパネルBTj』 エコリーフを取得 (2024年4月)




バスパネルBTj 断面形状



半硬質、表面・抗菌・UV塗装、有効巾200、発泡ウレタン充填、アルミ蒸着フィルム、釘穴用長穴(穴巾3.5mm)、半硬質

## ▶ 『プラスドルーバーJF3050』 エコリーフを取得 (2024年4月)




カラーバリエーション

DN(ぬしな)タイプ

LP	DB	RB	GY(亮灰色系)	DK(深黒色系)	WH(純白色系)
----	----	----	----------	----------	----------

CA(ぬしな)タイプ

LB	DB	RB	GY(亮灰色系)	DK(深黒色系)	WH(純白色系)
----	----	----	----------	----------	----------

寸法図



備考

- 自己消火性
- 専用小口蓋あり
- バス出荷：可

## ▶ 「ORGATEC TOKYO 2024」に出展 (2024年5月)



# 2025年3月期1Qのトピックス

長瀬産業、キャプテックスとのリサイクル樹脂およびリユース車載バッテリーを活用した

## ▶ 環境配慮型スマートベンチを共同開発 (2024年4月)



実証機ではデジタルサイネージ、LEDライトを搭載  
顧客ニーズに合わせてカスタマイズが可能



## 壁面衝突視認材

### ▶ 『樹脂製フォークガード』 -5℃以上の冷蔵倉庫対応開始 (2024年6月)



### ▶ 「FOOMA JAPAN 2024」に出展(2024年6月)





本資料に記載されている業績予想や将来予測等は、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績や結果は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。

本資料に記載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。

当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。

お問い合わせ先：経営戦略本部 広報・IR推進室 (0776-38-8415)